

ダイバーシティ 笠間 を目指して

笠間市は、年齢や性別、国籍、障がいの有無、性的指向などにかかわらず一人ひとりが尊重され、多様な人たちが活躍できる「ダイバーシティ社会」の実現を目指しています。

ダイバーシティ社会の実現に向けて笠間市では
「意識の醸成」「職場や生活環境の整備」「広い視野・多様な価値観を持つ人材の育成」
の3つの方針をいばらきダイバーシティ宣言に登録し、取り組みを進めています。

問 秘書課（内線224）



ユニバーサルデザインを 取り入れた笠間焼 「ひとにやさしい器」

団体名：ひとにやさしいうつわ開発研究会（ひとらぼ）
事務局：笠間市笠間 1542-4
TEL：0296-72-4413（武さん）

今回は環境整備の取り組みとして、誰もが利用しやすく、暮らしやすい社会となるようまちや建物、ものなどをデザインするという考え方「ユニバーサルデザイン」の一例をご紹介します。

取り組みを始めた経緯

2001年に当時の茨城県窯業指導所主催で笠間焼商品開発研究会が発足し、その後2009年に製陶業の方のみで「ひとにやさしいうつわ開発研究会」として独立しました。『のみやすい・もちやすい・すくいやすい』をテーマに、多様な方たちが食を楽しめるように、使う方が幸せになれるような、ひとにやさしい器を提案しています。

また、2004年から笠間工芸の丘で「ひとにやさしい器展」を毎年開催しています。

ひとにやさしい器の一例を紹介しします

01 のみやすい ▼ 鼻の部分がカットされているので、楽な角度で飲み物を飲み干すことができるノーズカットの湯呑。

02 もちやすい ▼ 取っ手がテーブルにつくことで安定性が増す器や、絞り（くぼみ）がついているので持ちやすい湯呑やカップ。

03 すくいやすい ▼ ふちの部分に反り返りがあるので、食べ物が

すくいやすい形状の器や、底の部分に角度をつけることで、食べ物が集めやすい器。

作家の皆さんが工夫を凝らし、機能性とデザインが詰め込まれたひとにやさしい器となっています。



今後の取り組みは

会員である作家の皆さんは、メインの仕事がそれぞれ別にあるので、自分たちの状況に合った進め方で無理なく取り組んでいきたいと考えています。

感染症が落ち着いたら、会員同士が意見を出し合う研究会をぜひ開催して、より良いものをつくりあげていきたいです。今後も、だれでも使えてひとにやさしい器づくりに取り組んでいます。

参加者募集

ユニバーサルマナー講習会

高齢者や障がい者、さまざまな人の目線で考え、行動する姿勢「ユニバーサルマナー」を学び、一步を踏み出せる人になりませんか。ユニバーサルマナー検定3級が取得できます。また、今回紹介した「ひとにやさしい器」にもふれることができます。ぜひお申し込みください。

問 秘書課（内線224）

【日時】 6月30日（木）午後1時30分～4時30分
【会場】 友部公民館2階大会議室（笠間市中央3-3-6）
【定員】 30名（定員を超えた場合は抽選）
【参加費】 2,500円
【申込期限】 6月16日（木）

